

# 教頭通信デジタル

令和4年12月9日（金）第24号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## ミニだっぴ(交流活動)を行いました

12月8日（木）、2年生と3年生はタイトルの交流活動を行いました。

中学生だっぴとは、中学生4人～5人・大学生2人・保護者など地域の大人2人の計8～9人程度のグループを中学生の人数分つくり、働き方や生き方などについてテーマに沿って自由に話し合うキャリア教育プログラムです。

【NPO法人だっぴ】のホームページより

2年生は夏休み中の8月26日（金）に『備前市中学生だっぴ』として伊里中・日生中・三石中・吉永中の4校合同で実施しました（3年生も2年次に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症流行のため中止となりました）。

今回は『ミニだっぴ』として、2年生は5校時目にZoom



mを利用したの遠隔交流、3年生は5・6校時目に対面でのリアル交流を実施しました。2年生はZoomのブレイクアウトルーム機能を使い、キャスト[大学生]1名と中学生2名(1名)のグループで交流しました。グループによってはキャスト1名と中学生1名の1対1の交流もありましたが、時間の経過を忘れるほど、熱中してキャストとのコミュニケーションを楽しみました。3年生は特別活動室でリアル

交流を行いました。2グループが円の形に座り、司会者の示したトークテーマの答えをスケッチブックに記入し交流しました。ルールは「自由におしゃべり！」が基本のフリートークで、テーマを離れて横道に逸れることもOKです。キャスト[大学生や社会人]との交流をとおして、人生観や職業観、そして、表現する力を身につけることができた2時間でした。



NPO法人だっぴのホームページには、「だっぴの目指す社会」、「活動内容」、「参加者の声」等が詳しく掲載されています。8月26日（金）の『備前市中学生だっぴ』についても、だっぴニュースとして取り上げられています。時間が許せば、1度ホームページを訪問してみてください。アドレスは【[dappi-okayama.com](http://dappi-okayama.com)】です。今回の交流活動に参加してくださった関係者の皆様、誠にありがとうございました。

